

1、体罰について

- (1) 学校・幼稚園・保育園・家庭におけるしつけと体罰の現状をきく
- (2) 体罰による子どもの基本的信頼感喪失についての教育委員会の考え方を聞く
- (3) 愛の鞭ゼロ作戦、ポジティブディシプリンの子育てについての嵐山町での啓発への取り組み、 今後について聞く

2、学童保育の現状について

- (1) 学童保育の（株）シダックスへの指定管理移行から2カ月経過したが、現状把握をきく
- (2) 保育の質について聞く

3、第3の居場所事業について

- (1) 地域では、菅谷小に子ども食堂ができるなどの話が広がっている。
学校保護者・地域への説明についてどのように進めていくか
- (2) 4月からの利用者の公募方法を聞く
- (3) 専門性のある職員の配置を聞く

4、子育て世代包括支援センターについて

- (1) 職員体制について
- (2) 専門性の確保について
助産師は雇用できるか
- (3) 産後ケアについての考え方

5、花見台工業団地拡張について

- (1) 企業局より花見台工業団地拡張に 応募している事業者の数・事業内容・事業者の決定による造成事業、環境 配慮を聞く
- (2) 現在の課題について聞く

6、後のゴミ処理について

- (1) 埼玉中部資源循環センターの進捗および、現在の課題について
- (2) 平成27年6月8日の嵐山町議事録を見ると、町長は、顧問弁護士より、埼玉中部資源循環組合は埼玉中部環境保全組合とは別団体であるため、32年前の裁判の和解をまもらなくても違法ではないというアドバイスがあったという答弁をしているが、以前も尋ねたが、いつ、どこでそのアドバイスうけているのか。
- (3) 今後のゴミ処理については、財政・環境面から計画を見直すべきだが方向を聞く
- (4) 現在、落ち葉・草は袋につめて、また剪定枝は30センチに切りそろえて焼却ごみにしている。町内に数カ所程度、堆肥施設をつくり、焼却ごみではなく、そちらに運び込むシ

システムの構築が必要であるが、考えを聞く

7、幼稚園・保育園無償化について

(1) 国は幼稚園・保育園無償化にかかる費用を年約 8300 億円、このうち市町村側に求める負担を 4370 億円と試算したことが報道されている。全国市長会は全額国費で賄うよう求めている。町村長会の動きは報道されていないが、考えを聞く

(2) 国の示した案で、町負担額の試算を聞く